

県外派遣報告書

審判員名	竹澤 友美	所属	ミニ連盟
大会名	平成28年度 関東高等学校女子バスケットボール大会		
期間	平成28年6月4日(土)～5日(日)		
会場	群馬県高崎市浜川体育館・中央体育館		

スケジュール

期 日	内 容	場 所
6月3日(金)	審判会議	ホテルメトロポリタン高崎 会議室
6月4日(土)	ABブロッカー・二回戦	高崎市浜川体育館・中央体育館
6月5日(日)	日本公認講習会:講師:吉橋雅一氏・渡邊亮氏	高崎市浜川体育館
	ABブロック準決勝・決勝	

会議

渡邊整関東ブロック長: 今年度よりブロック大会2日目は上級のみを割り当てる。B級審判員は割り当てもらうためにステップアップしてほしい。

審判の役割は正しい方向へ向かうようにすること。関東の審判員がさらに1歩前へ進み向上するためには「見極め」「判断」「判定」すること。そのために四原則があるがこれは手段であり目的ではない。例えばリードで右へ行く、動く、受けることが目的ではない、正しい判定をするためであることをもう一度見直してほしい。スペースを捉えるために動くこと、リードではアングルを取って視野を確保しながらPLAYを判断し、動いてそのPLAYを捉えられる位置取りから止った状態で良い判定ができるようにする。「動かない」のではなくPLAYを判断できる位置へ早く動き、動きながらの判定で誤った見方、見え方の中ではなく「見極め」「判断」「判定」すること。

茂泉圭治氏: 審判員の「ポジション取り」「視野の取り方」

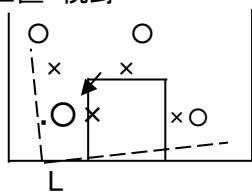
1、審判が正しい判定をするために

- ・審判の任務はスムーズな運営→判定(判断)に委ねられている※トラブルにどのように対応するかも含む
- 四原則を活用する←目的は行われているPLAYに対して正しい判定をするため※動くことが目的ではない
- ・自分の責任エリアに対して①良いアングルでPLAYを捉える②PLAYを始めから最後まで長く見続ける③アングルが取れるポジションに足を運ぶ※早く動いて待ち構える。瞬間的に動く、動きながらの判定をなくす

2、ポジション取り・視野の取り方

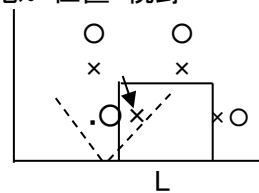
【例①エリア4-5ポストプレイ(リード)】

良い位置・視野



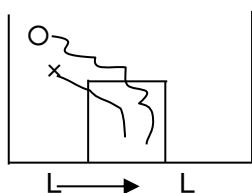
アングルを取りながら対応する
→ヘルプや次の動作に対応するため

悪い位置・視野



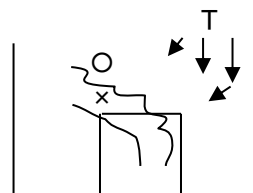
ポストPLAYだけを見る
→ブラインドになる・ヘルプを確認できない

【例②エリア3からのドライブ(リード)】



先に動いて待ち構える
→いつ動き出すのかは経験の積み重ね

【例③エリア3からのドライブ(トレイル)】



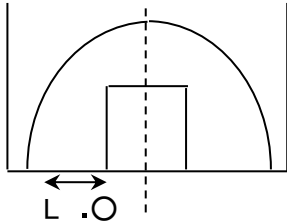
始めから最後まで見届け判定する(追従)
リードが見にきていなければ責任を持つ
(きていたらWコールにする)

3. エンド・ラインでのボールの渡し方

【今大会から】

左サイドの矢印内の場所からのスローインでは
左側(外側)からボールを渡す

※右サイドとサイドラインに近い場所(矢印の範囲の外)では今まで通り内側から渡す



【目的】

- ・目の前のPLAYに良いアングルで目が当たる
- ・始めから捉えることができる(ブラインド・ストレートラインをなくす)
- ・長いパスに対しても良いアングルで目を当てられる

実技

担当試合	期 日	6月4日(土)	女子	Bブロック二回戦
	対戦カード	藤村女子高等学校(東京都)	VS 千葉英和高等学校(千葉県)	主審
	相手審判	仙波紀彦 氏 (茨城県)		

ミーティング内容 主任 山岡忠氏(神奈川県)・吉橋雅一氏(日本協会)

山岡氏:リードが開いてポジションを取っているときのペイントエリアへのトレールの協力はどうなっていたか。

吉橋氏:トラブルやベンチ、選手のストレスもなくスムーズに進み、終盤もそのまま終わらせても良かった。

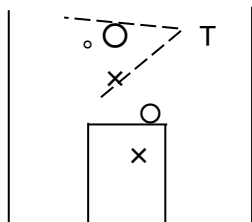
日本公認講習会: 吉橋雅一氏(日本協会)

○レフリーとは警察、弁護士、裁判官ではなくオーケストラの指揮者である。※取り締まる人ではない
必要な資質→ルール・マニュアル→精神、技術理解…現象だけでなくPLAYの内容をふまえた判定を

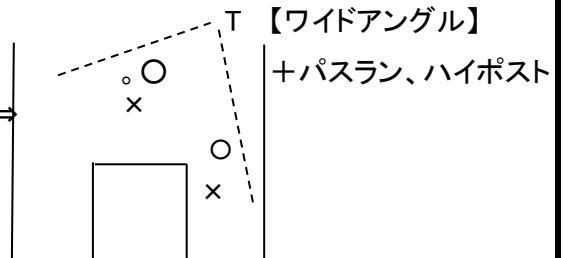
○メカニクス…プライマリーエリア(責任範囲)

・リード→エリア4, 5, 6(3Pラインの内側) ・トレイル→1, 2, 3, 5, 6 ⇒デュアルのエリアはアングルで
区別する

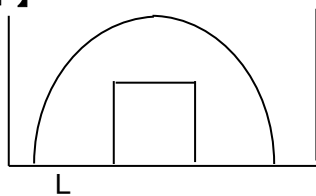
【トレイル】



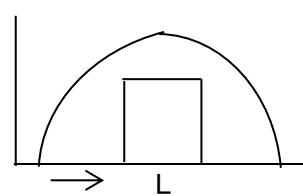
1組だけを捉えるのではなく ⇒



【リード】



セットアップポジション



クローズダウン ※スイッチの準備

スイッチを控える3つのQ

・Quick Shot ・Quick Pass ・Quick Drive +プラス ショットクロック4秒以下

○ヴァイオレーション

・軽微なもの→記録されない

しかしゲームを左右する、正確に取り上げることで落ち着きを与え選手を正しい方向へ導く

※トラベリング、スピムーブ、ジャンプペネトレイトなど

○ファウル

- ・パーソナルファウル・・・瞬間を捉えて判定したほうが良いもの、影響を考慮して判定したほうが良いもの
→今吹かないと違うものになるもの(アクション・リアクション)
- ・アンスポ・・・スポーツマンらしくないもの、ハードなもの
- ・テクニカルファウル・・・触れ合いのないもの、手続き上のもの
- ・シリンダーの理解
- ・成立条件: 事実・責任・【影響】←RSBQ (Rhythm・Speed・Balance・Quickness)+チームへの影響

《まとめ》

- ・ABC運動を位置取りでも取り組む
- ・目の前のゲームをひたむきに選手のために一生懸命に誠実に取り組む

日本公認講習会: 渡邊亮氏(日本協会)

考え方《気持ちの持ち方》

- ・自分の良いところより悪いところの方がたくさん思いつくが、良いところが増える考え方に変える。
 - ・言い訳をしないで位置取り、できること、教わったことをきちんとする。
- ※英語圏の国に言って英語で挨拶するか、日本語で挨拶をするか。大切なのは伝えたいという気持ち。
- ・コートでは最後は1人で決断する。←支えになるものを持つ
→ルールブックはポケットに。コートでは考えFeelすること

実技

担当試合	期 日	6月5日(日)	女子	Aブロック準決勝
	対戦カード	昭和学院(千葉県) VS 東京成徳大学高校(東京都)		U2
	相手審判	R: 清水幹治 氏(本部) ・ U1: 丸山淳 氏(山梨県)		

ミーティング内容 | 主任 一色渉氏(茨城県)

Lで外に開き良いアングルで捉えようとしてしていることがわかった。

試合の流れの中や終盤の時間帯でプライマリーエリアの審判員が判定したほうが良いものがあった。

全体の感想

今年度初めての関東ブロック行事に派遣審判員として参加させていただき、メカニクスについて現段階での考え方を示していただいたことで、コートの上で判定することに対する取り組みが具体的になりました。より良い判定を目指して、良いアングルからPLAYを捉え判断し、判定できる良い位置へ動き、PLAYを長く捉えて判定できるように今後も取り組んでいきたいと思えます。最後に、群馬県の皆様にはたくさんのお気遣いをいただき大変お世話になりました。また、ご指導いただきました皆様、今回派遣していただきました埼玉県の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。